

# マニフェスト登録の 自動化の構築と法令順守の徹底

## ～社内システムとの連携に伴う業務の効率化～

株式会社エディオン 総務人事本部法務部 コンプライアンス課  
中村 清香

### ■ 企業プロフィール

関東地方から九州・沖縄地方に展開する「エディオン」と、北海道・北陸地方を中心に展開する「100満ボルト」のストアブランドで地域に密着した家電専門店を運営しております。

お客様に「買って安心 ずっと満足」していただけるよう、心のこもったご挨拶、豊富な商品知識と丁寧な接客対応、行き届いたアフターサービスなどを通して、未長くご愛顧いただける店舗づくりを目指しています。

### 企業概要

設立：2002年3月29日  
本社所在地：大阪府大阪市北区中之島  
従業員数：15,947名（2024年3月31日現在）  
事業内容：家電小売業

## 1 電子マニフェストの導入の背景

電子マニフェスト導入前は、全国のエディオン各店舗で紙マニフェストを管理・保存していましたが、本部でマニフェストの情報を把握管理することや紙マニフェストの紛失防止を目的として、近畿エリアから電子マニフェストの導入を開始しました。その後全店舗への導入を行い、今では全てのマニフェストが電子化されています。

各店舗及び配送・工事物流センターやリフォーム事業から排出される廃棄物は、廃プラスチック類（ビニール、PPバンド）、発泡スチロール、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、廃電気機械器具、ガ



店舗設置の太陽光発電

ラス、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、石膏ボード等多岐にわたり、年間排出量は51,700t、年間マニフェスト件数は118,712件（2022年度実績）になります。

## 2 電子マニフェストの運用とメリット

導入当初は各店舗分の予約登録<sup>\*1</sup>、各店舗への受渡確認票の配信等を本部で集約し管理していました。2016年2月からは各店舗において社内システムへマニフェスト情報を入力できるように変更し、社内システムに入力された情報からJWNETに取り込むCSVデータを作成して一度に多量のマニフェストをJWNETに登録できるようになりました。さらに、2020年からRPA<sup>\*2</sup>を導入し、社内システム入力後のCSV出力作業からマニフェストの登録までの工程を自動化しました。また、JWNET登録後のマニフェスト情報はCSVデータでダウンロードし、社内システムへ連携しています。処理の完了やエラー等が発生した場合には、社内メールで連携さ

れるようになっており、ペーパーレス化及び業務の効率化を図っています。

登録処理を簡略化したことでヒューマンエラーが少なくなり、処理状況を社内システムからも容易に確認できるため、処理終了の報告期限が順守されるようになりました。また、紙マニフェストの保管や産業廃棄物管理票交付等状況報告が不要となり、作業時間を大幅に削減しました。

JWNETの登録情報は社内システムで確認することができるため、自治体へ「事業系一般廃棄物減量計画書」の提出時に産業廃棄物情報も求められた際にもマニフェスト情報を活用して円滑に対応しています。

また、経理業務においては、JWNETの確定数量と廃棄物業者様からの支払い内容を照合することで、支払金額の確認を行っています。

- \*1 産業廃棄物の排出前の予定の段階で、その時点で決まっている情報のみを入力し、マニフェスト情報を仮登録すること。
- \*2 Robotic Process Automationの略称で、データ入力などのルーティンで行われている業務をロボットによって自動化するツール。  
具体的には、人がパソコンで行っている定型作業をソフトウェアロボットに操作を覚えさせることで、業務を効率化できる。

### 3 環境への取組みについて

#### <脱炭素への取組み>

弊社ではCO2の排出を削減する運営を目指し、LED照明などの省エネ設備やクリーンエネルギー設備の導入をすすめています。また、省エネ製品・サービスの提供を通じてその重要性を理解していただく活動など、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを行っています。

例えば、家電の梱包等に使われている発泡スチロールの排出量が多い7拠点に減容機を導入し、インゴット加工し有価物として処理を行っています。2022年度は、287tの発泡スチロールを再生資源に加

工しました。また、加工の際に発泡スチロールを溶解減容処理することで、運搬に用いるトラックは通常の1/20の台数となり、CO2の排出も抑制しています **写真2**。

#### <店舗での取組み>

- 産業廃棄物の分別処理を行い、金属類を産業廃棄物処理ではなくマテリアルリサイクルとして処理することで産業廃棄物の軽減に努めています。
- 段ボール、古紙等は資源再生業者へ引渡し、リサイクル循環の推進を行っています。



**写真2** 発泡スチロールを溶解減容処理する様子